

ランニングマン春がゆく！



地域資源やアイデアを活用した那珂川町商工会のまちおこし

今、那珂川町商工会では観光部会を創設し、自然や歴史を活用したいくつかの取り組みがなされています。

史跡活用では7月31日の現人神社の輪越し(わごし)の神事のライトアップを行ったところ例年の約1.5～2.0倍の来場者がありました。

また、岩門城跡への史跡散策ルートを整備して町内外の方に楽しんで頂くための、整備計画・施工が本年からはじまりました。

さらに、特産品プロジェクトチームを発足させ、様々なアイデアや研究開発を繰り返した結果多様なアレンジが可能で、野外でも気軽に食べられる「なかがわタコス」を特産品にしようと決めました。

このタコスは「町産の素材を一品以上使い皮で包まれている」などを条件に現在町内の飲食店や菓子店などの11店が町で採れた卵や野菜、果物を使って工夫を凝らしたタコスを生み出し「祭りなかがわ」試食会を開催した結果高い評価を得ました。

私は地域経済の活性化を図るには大きく分けて①財政依存②企業誘致③内的地域振興の三つの手法があると考えています。

今回の那珂川町商工会のまちおこしは、内発的な地域振興につながる取り組みと捉え、これからは、議会人として議場はもとより様々なできる限りの支援を行っていきます。



現人神社 輪越し模様

《Facebook やっています 春田智明→検索》

春田ともあきブログ
ランニングマン春がゆく



■最後までお読み頂き感謝申し上げます。

第16号

九州北部豪雨で被災されたみなさま、亡くなられた多くのみなさまに、心よりお見舞いと哀悼の意を申し上げます。

那珂川町議会議員

は る た

春田ともあき

あなたの声を！
あなたの思いを！
町政に届けます！



春田ともあき事務所

福岡県筑紫郡那珂川町中原 6-13-21-505

TEL/FAX : 092-952-1431

E-mail : haruta@ari.bbiq.jp

http : //haru3.net/

議会報告

平成 24 年第 3 回那珂川町議会定例会

会期 2 1 日間（9 月 1 3 日から 1 0 月 3 日まで）
議案 2 4 件、諮問 1 件、認定 9 件、請願 1 件、意見書 2 件が
上程され審議されました。

一般会計補正予算 1 億 1 千 1 6 7 万 4 千円追加

主な議案のみご紹介致します。

- ①以前より要望がありました松木前田公園のポンプ小屋を撤去します。
- ②町の防災組織に地域の自主防災組織を加え防災に関する重要事項を審議します。
- ③学童保育児童数の増加に伴い指導員を増員します。
- ④上梶原公民館を介護予防拠点整備費を使いバリアフリー化します。
- ⑤安徳北小学校駐車場への道幅を約 4 m から 6 m に拡幅し門扉を新設します。
- ⑥防災行政無線システムを屋外拡声機約 2 2 台、個別受信機約 3 6 0 台を計画しています。

詳しくは、春田ともあきホームページ <http://haru3.net/> をご覧ください。

■第 3 回定例議会を振りかえって

今回の定例議会では 8 月 1 9 日の町長選挙で 2 期目の町政を担う武末町長の所信表明がありました。

その中で都市基盤整備については、防災無線の導入や自主防災組織の充実を進める考えが表されました。

さらに教育分野の振興では、子どもたちの学力向上、不登校などの児童への対応、学習環境の整備など具体的に示されました。

少子高齢化対策では、(仮称)子育て支援センターや(仮称)療育支援センターを推進し、高齢者の健康づくりにも積極的に取り組む等、「選択と集中」による行財政の運営を行っていく所信が述べられました。

これまで私が、議場で提言してきた内容と重複した取組みが多く、今後のまちづくりが期待できる所信表明でした。

9 月議会の一般質問

「高齢者の健康と QOL を」

春田 高齢者の QOL クオリティー・オブ・ライフ（生活の質の向上）、5 年間で約 1 8 % と増加中の後期高齢者医療費の抑制からも「高齢者の健康づくり」は重要な施策では。

町長 福岡大学との連携事業、ニコニコ運動やステップ運動プログラムを継続できるように検討したい。

春田 地域の運動会やサロンなどでの紹介、出前講座を活用した教室開催など工夫を凝らして、継続すべきでは。

町長 大変大きな課題と認識し複数のやり方を考えながら、高齢者の健康づくりを支援する。



「不登校問題について」

春田 平成 2 3 年 1 2 月の一般質問にてスクールソーシャルワーカー、一名では対策は不十分だと指摘し、現在配置している児童生徒指導員等の増員を提案したが。

部長 中学校における不登校等生徒の改善・復帰・解消を目的として各中学校に教員免許を有する不登校等専任教員を配置し、中学校・家庭が一体となった不登校対策を推進する。

春田 不登校対策を推進するためには、児童生徒指導支援員、スクールソーシャルワーカーなどの連携、推進体制の組織化が必要と考えるが。

部長 議員の質問のとおり関係者間の連携が必要と考え「(仮称) 那珂川町中学校不登校等対策推進会議」の立ち上げを検討していきたい。